

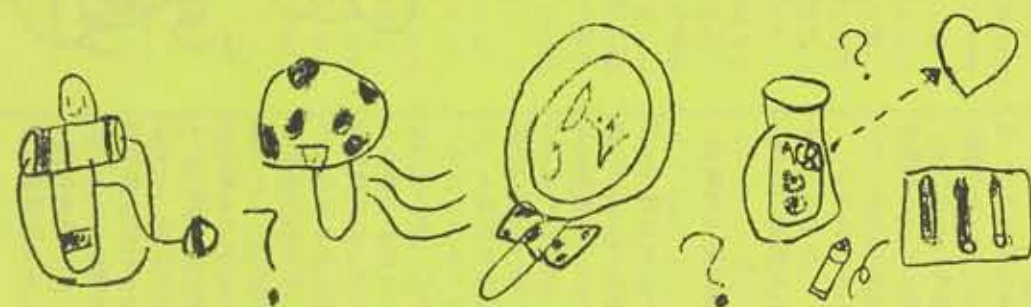
1988年3月号

1988年3月5日発行(毎月1回5日発行)

No.134

あふあて

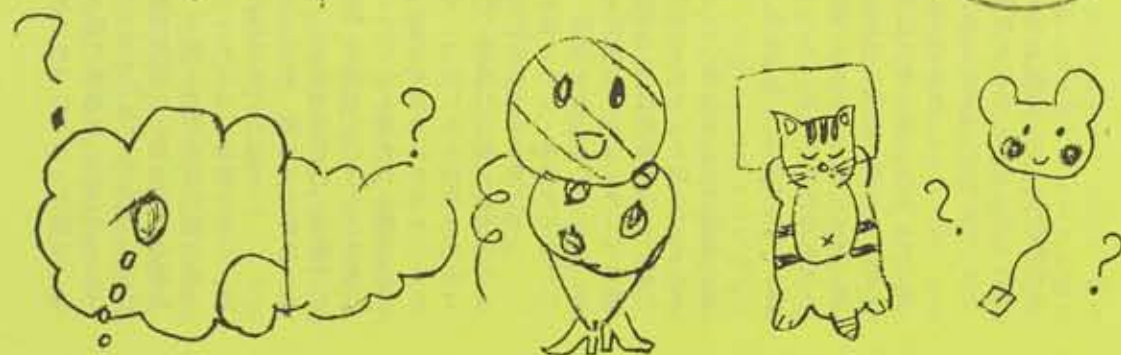
発行人/ 発行所/あふあて出版部
定価/400円 振替口座/ あふあての会 電話/



ほらふき広場

けん玉が、なわとびしてるってほんとう?
きのこが、歌ってるってほんとう?
かがみが、光を出してるってほんとう?
クレヨンが、さわいでいるってほんとう?
香水が、恋してるってほんとう?
風船が、たびしに行ってたってほんとう?
雲が、食べられたってほんとう?
アイスクリームが、ハイヒールはいたって
ほんとう?
ねこが、こんなかっこうでねたってほんとう?
なんでもほんとうになる、ほらふき広場

詩・イラスト 三谷 (小2)



(スタッフまとめ)

子育て一段落後の人生を本音で生きようとしてそれぞれの生き方を共に捜そうというテーマに反響のお便りも届いています。

会田さんは認めています。こちらかとても刺激を受ける、明るく生き生きした女性、今、将来に向けて着実に歩んでいます。

1月26日、飯田橋の婦人情報センターで3回目の「新人集まれ」を行いました。大人7人、子供6人、外の寒さも忘れてしまう程ボカボカした部屋でのおしゃべり。集まった人

子育て一段落後の人生は自分の本音で

「自分自身を見つめ、自分の本音の正体を知り、その本音で生きてみたい」と思い、試行錯誤している真最中である。

私の娘は2才10ヶ月。まだ子育て一段落には間があるが、一段落する前に自分が生きてゆく方向だけは見つけておきたいと思い、一年位前から少しずつ動き始めた。娘は早くも“自立”に向かって歩を進めている。

るが……。

もつこともつゝ、自分”を大切にしたい。自分”を大切にしてくせ、夫や子供の中にある各々の自分を尊重できるような気がする。自分の本音を見つめるのは簡単な様でとてもむずかしい。でも私は本音を見つめ少しずつ歩き出しているつもりである。

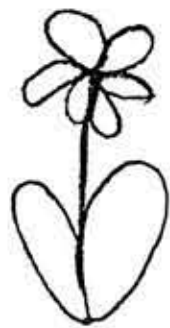
いざ歩き出してみると風当たりが強かったり精神的にも肉体的にもいろいろなきつかったりするが、それでも歩み続けたい。試行錯誤を繰り返しながら……。

会田さんは子供と遊ぶのがとても上手な二

十代後半のハツラツとした一児の母親である子供と絵本が大好きなので、それに関わるライフワークをみつけたいそうです。日々の暮らしの中で自分と向かい合い、自分自身を生かし、魅力あるものにしたいという試行錯誤した現時点での将来の夢なのである。これからハツラツさを失わず自分の道を歩み続けて頑張ってください。

私は11月号で、子育て一段落後の母親の年齢にこたわったが、会田さんの文を読むと、子育て後の人生をどのように生きるかを模索するのは、年齢に関係ないと思った。個人の意識の違いなのだ。会田さんは末だ二十代後半なのに、将来に夢を抱き勉強をしている。私は三十代半ばで思い立った。女も一生仕事をと学生の頃から自立を希望してた友が、この度良きパートナーを得て遅い結婚をした。そう、様々な生き方、自分があるのだ。

それぞれの生き方のこだわりや、目指すものなどその動機や心境、そして、歩き始めている人の体験談など、沢山聞きたいのとお便りを寄せて下さい。又、次号にも載せてゆきたいと思う。皆で情報交換しながら、お互いに一歩でも、二歩でも前進したい。



参加者の声

(十一月・府中公園にて)
☆初めての参加でした。話すことで問題が見えてくるので、また参加してみたい。行動を起すところまでは時間がかかりますが、ゆっくり焦らず進んでゆきたいと思っています。

（日野市）

☆久しぶりに子連れであんふあんでに参加して、新たな感慨がありました。初めての子のお母さんたちとは年代が違い話が合わないだろうと思っていたのに、違和感がないのが不思議でした。特に玄米食にしている方たちの食べ物の話には教えられるところが多く、三回目の育児と共に考え直さなければと痛感しました。これからも機会があれば参加して、刺激と活力を得たいと思います。

(府中市)

☆迷った挙げ句、今日は「保育園へ置いてきてしまいました。他の用事がたまっていたし、今夜も連れて出かけるし、鼻たれもひどいというのを口実に、今日は一人身です。代わりに公園で一人でいる親子を誘ったら、大ヒットのすてきな人でした。とうとうお昼抜きで！二時までつきあって下さったのです。せつかくの公園をひきあげて昼食後は市民会館に入ったけれど、メインテーマ「本音」の大おしゃべりになってなかなか楽しく過ごしました。やっぱり内と外と両方ある所はいいですね。

(杉並区)

☆いつも子どもと向かい合っていると、時々息がつまる感じがしますが、グループに誘ってもらってほっとした気持ちを味わっています。はじめて、しかも飛び込みなのに、違和感を感じずに時を過ごせました。

今の関心事はやはり子どものことで、そういう話ももつとしたかったです（子どものことを通じて自分に行きづまったりわかつたりしてくることを、分かち合いたい気持ちもあるのです）、いつも気になりつつ生活には結びつかないでいる食事の話も聞けて、よかったと思います。ずばりな自分としてはそう生活を変えられないし、今の時代のそのまますここの子どもも生きて行こう、そこから考えようという受容性も好きなものですから。

また一緒に話したいと思います。

（府中市）

(府中市)



国立市

「云いたい本音」とは何だろうか。近所では云えないそういう状況を本気で変えたいと思つたら、どうしたらいいんだろう。プレゼンテーションし続けていくしかないんじゃないかな。

ひきかえにレッテルを貼られることもあるかもよ。それでもいいんだって思つたとき、本当に現状は変わると思う。そうそう自分がキズモノにならずに、うまくは手に入らないよ。

覚えていますか？

チエルノブイリの

原発事故を その17



(二月の伊方原発の出力調整実験を前に、かつてあふふあんの会員だった調布市の北条さんより「このことをもつと皆さんに知らせよう」と、お便りが届きました。一月末、北条さんと一緒に高松での抗議行動に参加したお友達の報告文を添えて。その報告文の一部をここに紹介します。)

二月十一日「原発サラバ記念日」

「原発」にしますか

「いのち」にしますか

電

一月二十五日、高松の抗議行動に参加してきました。二十九日現在、四電は実施を変えてはいません。確かに一度は「延期」を検討すると表明したのですが、十日もたたないうちにそれは撤回されています。その間、どんな展開があったのでしょうか。そこがカギです。

高松の集会、デモ、その後の四電での泊り込みや抗議行動は、新しいうねりを感じさせるユーモアと笑いを忘れない素晴らしいものでした。これまでの様々な集会の参加者として、なんと子どもたちの数が多いこと。何と大学生の少ないこと。時間と機動力を持ち、問題意識を一番持っていて欲しい、次代をに

なう大学生の姿の少なさは、逆の意味で「教育の成果」を見た気がして恐ろしいことだと思いました。

「普通の主婦です」「今まで何も知らなかった」という人たちがこの危険な実験をやめさせたいと涙ながらに訴えました。私は「普通」だの「これまで無知」だのを臆面もなく振りかざすことには抵抗があります。「いのち」の感性を磨いて生きていけば気付く機会は充分すぎる程あった筈です。知らなかったことは恥ずかしいことです。にもかかわらずおんぶにだっこで据にまつわる子どもを連れ、やむにやまれぬ気持ちで参加し、いつ機動隊の導入があるかもわからぬ四電に泊り込み抗議する母親の姿の多さは、事態の深刻さと必死の思いが共有できて感動的でした。私も友人と二人で、彼女の娘二人、塾の生徒一人、そして私の小一の娘を連れていました。

全国から集まった署名者は六十万人に達しました。たった一ヶ月です。人から人、手から手へと、組織も何もない所で始まった運動です。そして私が手渡した署名の一つ一つには、それぞれのドラマがありました。塾の子ども達は学校へ持って行きました。好意的な先生ばかりではありません。「親にだまされてる」「こんな嘘だ。本当なら新聞に出る筈だ」等。「こんなことやっていて将来どうなってもいいのかわからない」とおどされ、せつなく書いてもらった署名を消しゴムやX印で消されてしまったと傷ついた子もいます。「やらなくて将来はあるのか」と云いたい。大人にもそうしたドラマはたくさんあります。署名は有効性を持たないと考える人もい

公共施設、

まだまだ子連れでは

利用しにくいようでは

★机の上の勉強だけが勉強ではないのに

一月末に開かれた東京都婦人情報センター(飯田橋)の利用者会議の席上、乳幼児を連れて活動しているグループから「使用状態が悪いというので会場の使用を制限されて困っている」という訴えが出されました。

このグループは母乳育児などの勉強をしているため、保育室だけでなく教室にも子どもを連れて入っているのですが、センター側説明は「(落書きなどがひどいという)こともありますが」、教室で保育の実践を行なうことが問題を。これはそういう場ではないので他の施設を勧めた」というものでした。

でも、一つのグループでも、託児付き講演会、自分たちだけの勉強会、親子一緒に交流会と様々な活動をするわけで、そういういろいろなニーズに答えてくれるような施設でなければ困るのではないのでしょうか。他にベイクラフトをしようとしたら断られた会もあったそうです。

会議はその後、参加者から子連れ利用を応援する内容の発言が相次ぎ、他にも利用時間延長の要求なども出されたため、利用者連絡会を作り職員とも話し合っセンターの運営に何らかの形で参加しようという方向に話が進みました。

「真実」を知ること

——伊方原発問題——

杉並区

この会報が皆の眼にふれたということは、二月の伊方原発での実験が何とか無事に済んだということになる。

私が伊方での実験について知ったのは、新潮社発行「波」一月号の広瀬隆氏の連載を読んでからである。「これが最後の正月か」と書かれた広瀬氏の文は、私の心に忘れかけていた原発の恐ろしさをヒシヒシと感じさせた。ほんの一瞬のあやまちが日本人すべての生命を奪い去る。絶対に起こってはならないあやまちなのに、「起こらない」という確証はどこにもないのだ。

伊方原発での実験に反対して電力会社に乗り込み泊り込んだ人々、そのことを伝えたマスコミは少ない。ここに私は、本当の「真実」を伝えたい。ここに私は、本当の「真実」を伝えたい。ここに私は、本当の「真実」を伝えたい。

様々な情報が氾濫している今だからこそ、私たちは「真実」を見極める眼を持たなければならぬ。巧妙なペールにかくされている「真実」を知り、伝えていくことから、原発の道も開けてゆくように思う。

親である私たちは、子どもに安心して生きてゆける地球を手渡す義務・責任がある。まずは、ごまかしのない「真実」を見つめることから始めてみたい。



★専従保育者はとってほしい

二月には、都知事を囲み婦人問題について話し合う会(タウンミーティング)が開かれました。参加者は都内の婦人団体の代表などで、都知事と関係局長が質問に答えるという形です。「男女平等などの一層の前進を図るために」をテーマに、1. 保育や老人介護の問題、2. 職業・職場の問題、3. 社会参加の三点を中心に話が進みました。

1の点の話し合いの時に「各施設の保育室が十分に機能するよう専従の保育者を」と発言したのですが、都知事や担当局長は保育所のことと勘違いしたのか的はずれの答え。再度質問しやっと得た回答は、「建物に保育室を設ける努力はしているが、専任保育者を配置するのはむずかしい。これから研究します」というものでした。

年輩の男性参加者からも「公民館などで小さい子を連れた婦人が活動しやすいよう、ぜひ保育者を」という発言があったのですが、都は今のところそのための人件費まで出す気はないようです。

でも、すでに安定した活動をしているグループなら自分たちで保育者も出せるけれど、小さいグループや個人では保育室を利用することさえ難しいのではないのでしょうか。常時待機とまでは行かなくても、資格のある人・やる気のある人を登録しておいて必要に応じて斡旋するなど、その気になればできるはず。諦めないで、今後も各地で「保育者を！」と言ってみよう。

(子連れの参加で政治を考える会・川崎)

★署名・カンパ宛先

グループ原発なしで暮らしたい

小原

あんふ あんてから
あんふ あんてへ



希望がいっぱい

横浜市

昨年十二月二十六日に第一子・長男を出産しました。

三月に結婚し、横浜へ転居（それまでは石川県金沢市に在住）、そして妊娠と目まぐるしい一年でした。出産までは一人でいる時間が長くて困っていましたが、子どもを通して横浜へ根っこがはやせそうで、希望と期待であふれています。どうぞよろしく。

むすこのアレルギー

小平市

生後四ヶ月になるむすこ（第二子）は食物アレルギーでした。生後一ヶ月頃から湿疹が顔にできはじめ徐々に身体にも広がっていききました。母乳のみで育てているのに、上の子はなんでもなかったのに、アレルギーなんてと全く意外でした。

治療は、母乳を与えている私がアレルギーの原因食物と疑われる食品を一切摂らないようにする食事療法です。まず、三代アレルギーといわれている牛乳製品、鳥製品、大豆製品全て。さらに最近増えているといわれる小麦・小麦も制限しています。これまで生協活動などをしていたので、食生活にはかなりこだわってきた方でした。けれど、食物アレルギーの子を生んでみてはじめて、品質さえ良ければよいという自分の考えのあやまちに気付きました。食物アレルギーとは、食生活が豊かになりすぎてしまったが故の人間の身体への拒否反応でもあるのです。

見回してみると、いつの間にか私たちの食生活の中にはなんと多くの牛乳・卵・油（大豆）の中で要注意なのが大豆油です。製品にあふれていることでしょうか。冷凍庫はいつも満タン。質の良いものをお腹いっぱい食べた結果が食物アレルギーでした。どんなによい食品でも、それを大量に食べつづければアレルギーを起こす可能性はあるのです。現にここ五年くらいで食物アレルギーの子どもの急増しているとのこと。食事制限をはじめてみて、粗食が健康のキーポイントであると考えるようになった。

私のむすこの場合のように、アレルギーの家族歴がなくともアレルギー体質の子が生まれる事も多いそうです。又、今はなんでもなくても幼児になつてから突然症状が出るケースも増えているそうです。皆さん、牛乳・卵・大豆の摂りすぎに気をつけて！

もうすぐ入学式

子どもの服装を考えよう！

大田区

小学校の入学式に「スーツにネクタイ」はやめよう。

1. たった一日しか着ないのに不経済である。
2. 皆が皆制服のように着ているのが不気味。
3. 改まった気持ちを表すなら、工夫したい。新しいシャツにズボン、えりもとにリボン等が考えられる。

新一年生のお母さんお父さん、ぜひ今年はデパートの新学期コーナーなどで買物をしないように！

昨年、長男の入学式では四クラス全員（我息子をのぞく）が「スーツにネクタイ」であつた。その上、当日皆と同じ服装でなかつたのは「ピンポイントで買ってもらえないんだろ」と、クソガキクラスメイトに言われた。

トータル3万円のおぼろげ



あんふ あんて十周年十〇

イベントに参加して

中野区

芝居「変わっていく私」には、かなり物足りないものを感じました。幼なじみならお互いの家庭環境・考え方がかなりわかっているはずですし、それなのに仕事・子育てに対する理解がないと離婚を考えるのはタラタラすぎませんか。それに相手を変えようという努力の部分もなく、たんなるシングル志向でもなく、友人の人間描写にも不可解なところがあるし、わかりません、ウーン。このあいまいもがあんふあんで的なんだろうなあ。神田さんの大道芸、スカップと気持ち良かったよ。観に行きたいですね。いつもは何処でやっているのか教えて下さい。

しかし、今日のおんなたちは皆輝いていましたよ。何かと闘っているという実感があふれていて、逃げていなくて気持ちがいい。いつもは顔を出さないけど、交流会やイベントの際は何かして行きたい、と足を運ぶのはこれなんです。今日ようやくわかりました。それぞれのスタイルで生きているけど、自分からは逃れようとしていない、そういうおんな達なんです。

私は幼稚園のいざこざから逃げだしてスカッとしたおんな達に加わりたいけど、やっぱりいざこざは待っているのかな、それとも私が引き起こすのかしら。

原発
サレバ！

二月十一日デモに参加して

中野区

成功しても失敗しても恐ろしい伊方原発出力調整実験をやめよう、原発とめようの、東京でのデモと集会に参加しました。くわしく知れば知る程恐ろしくなる原発、この一ヶ月間署名に走りまわりましたが、時としておそつてくるあきらめと絶望感。しかし今回の楽しかったデモのおかげで、こうしたモヤモヤやストレスはどこかに飛んで行った様です。

途中、近くで開かれた「子供達の反原発」のグループと合流しました。自分達で描いた絵や楽器を持って参加している子供達の姿は大人達よりずっとこの地球の危機を体で感じとっている様でした。お坊様の「運動する時は敵を作つてはいけません。電力会社の人もいすれは私達の仲間に加わってくれてほしい。今までの暴力の歴史を繰り返してはいけません」というスピーチもありました。もし敵がいれば、原発推進派をぶんなぐつてやりたいと思う私の内にある暴力性なのかも知れません。ピラを渡された見物人もデモに加わる一コマもあり、デモ隊と見物人の垣根を感じない楽しい行動が出来ました。

四月の末には「原発とめよう一万人行動」が開かれます。大道芸や楽器演奏など特技のある人、ない人もみんな一緒に楽しいお祭りにしませんか。楽しんで原発がとめられるなんて一石二鳥、いや三鳥。今度は私も家族で出しものを練って参加するつもりです。

※原発とめよう一万人行動

チェルノブイリ二周年にあたる四月、さまざまな市民や個人が参加して首都圏で行動を起こします。「そんな原発いらない！」と、訴える予定。

4月23日(土)

午前10時半から

通産省など政府省庁との直接交渉

午後1時から5時

分散会（原発のゴミ、原発の危険性、核燃料輸送、労働者と原発、食品の放射能汚染、地域自立ほか）

4月24日(日)

午前11時から

集会、フェスティバル（日比谷公会堂他）

午後2時半から

銀座パレード

主催・反原発全国集会88 実行委員会

連絡先 原発とめよう！ 東京行動88

日本消費者連盟 ☎03(7111)7766

ブルトニウム研究会 ☎(832)1977

大地を守る会 ☎0424(87)7811

反核パンフィックセンター 東京 ☎03(815)1648

トレーナー
きて
いこうね



あんふあんで

あんな人、こんな人



(入会アンケートより)

動きたいけれど:

福岡県宗像市

結婚前は住宅情報を作っており、結婚後は言語治療教室で非常勤講師をしたり、児童相談所で心理判定員のアルバイトなどしていました。今は、子どもができて無職の身です。近所のひとと子どもの預け合いなども試みてみましたが、力不足のためかほとんど自然消滅しようとしています。春に二人目の子どもを出産予定で、今のところ身動きがなかなかとれません。でも、気持ちまで冬眠したくないので、少々ジレンマの日々です。

充実しています

川崎市

共同保育グループ「さくらんぼ」に入会しています。さくらんぼのおかげで、親も子ども毎日充実した時を送ることができました。これからは、忙しくも満ち足りた日々を求めて努力して行きたいと思っています。あんふあんでの情報は、読むだけで社会参加しているような、そんな気分にならせてくれます。

情報誌を読むだけでも

黒磯市

結婚後三ヶ月目であっさり学童保育指導員を辞めました。でも、一度辞めてしまうと結婚後に仕事を捜すというのはいろんな意味で困難ということを実感しています。

あんふあんでに入会したものの、何をしたいかわからないまま、とにかく読むだけでもいいから様子を見よう、というふうなうもなない会員です。が、一三二の末本さんの心境にどこか近いものを感じ、具体的に全状況はちがうけれど、読んでいるだけでも心にひびくものが出てくるかもしれないなど、感じ始めている今日このごろ。

ただ、元々東京近郊の皆さんの活躍ぶりにはやっぱり圧倒されています。私にも何かできないのだろうか。でも、状況がいろいろかわるのだから、もう少し読むだけの会員継続かな?

夫はアメリカ、でも絆は強く

尼崎市

あんふあんでのことはリサイクルニュースで知りました。小さい子がいるので会員リストなど利用していませんが、子どもを連れて外出できるように考えたいと思っています。昨年四月から夫が単身アメリカに行っており、夫不在のまま第二子を出産しました。夫や家族立会いで出産する人もおられますが、心の結びつきを大切に、良い家族関係を築いていきたいと思っています。

活動開始

浦和市

市内の会員五名に葉書を出し、返事がきたのが三名。そのうちの一人の方の紹介で大宮グループに入りました。

毎週火曜に行っていますが、子ども二人なので、順番にカゼをひいたりして三分の一位は休んでしまいます。でも、自分の「目」が変わったように思います。外へ向けられるようになった気がします。もともと家の中にいるだけではつまらない性格なので、母以外の感覚を持った人たちに会えてとてもよかった。

引越しても、またあんふあんで

大田区

あんふあんでに入ってから大田区。なんとなく考えていた事などを行動に少しづつ移してゆくやり方やエネルギーを、身をもって教えてくれる友がいていいです。

三月に第二子出産の予定。いろいろ考える所があり、自宅出産を予定しています。また、子どもには少しかワイソウなのですが、八月頃引越すことにしています。大分に落ち着く予定。今住んでいる所には、まだ越してきて二年半。友が大勢なので、新しい所に行くのは不安いっぱい。でも、人とのつながりはこちらの気持ちでどんどん広がってゆくと思うので、大変だろうけれどチャレンジします。



新スタッフ大募集

また、今年もあんふあんでスタッフ募集のころとなりました。

会員のみなさん、みんな元気印で生き生きしていることと思います。その元気を多くの人も分けてあげたいという気分には、なっただけではないでしょうか!!

会員みんな横ならびの集まりがあんふあんでの特色ですが、ある期間、仲間の旗をふる役(実際の企画や運営を行う)も必要です。

スタッフは一年限りで総入れ替えと思っていられるかと思いますが、それは違います。何年かスタッフを続けている人もいます。エネルギーあふれ、やる気のある人にどんどん入ってほしいきっかけとして、年に一度募集していることが第一の目的ではありませんが、新しくスタッフとなった人は一年間であんふあんでの流れがはわかりませんが、それを生かせるのは二年目、三年目ではないでしょうか。

スタッフはみんな魅力的。新しい人、新しい個性と出会い、自分自身の考えがより深まる、まわりから刺激を受け触れられることが多い、等々、楽しさの部分が大きいと思います。日常生活で子育てや家事とはまた違った楽しさです。「みんなのために」という一方的な奉仕ではありません。

これまでスタッフの行ってきたこと。

◎スタッフ会議。月に一度。場所は事務局又は中野駅近くの婦人会館。お昼をはさんで三時間くらい。

◎年に何回かスタッフ編集による情報紙作成。

◎来期に向けてのアンケート。質問の設定、もどってきたもののまとめなど。

◎アンケートをふまえて、交流会の準備など。

◎平日あんふあんで、新人集まれの会。

◎グループリスト作り。

◎オリジナルトレーナー作り。

あんふあんで全体のスタッフとしては以上のようなものですが、ひとつの分野のみのスタッフという人もいます。

◎あんふあんでダイジェスト版の作成。

◎託児付映画会。(十回ぐらい実行しました)

◎十周年プラスのイベント

さて、ここまで読んで読んで、いつか来た人(多少のまよいはあっても)即、事務局まで電話してください。スタッフ会議の場所はメンバーの住所によって変わるかもしれませんが、現在活動中のスタッフは7人くらいですが、この三倍くらいがよいと思っています。スタッフ会議やイベントの当日でも、本人又は家族の病気で休まなくてはならない人もいますし……

さて、ここまで書いてきて、いつも気になっているのは地方に住んでいる会員のみなさんのことです。今までは東京周辺に住む人たちがスタッフとなってきました。やる気、熱意があっても住んでいる場所の問題だけで、スタッフになれないなんて、おかしいと思います。このことをどう克服してゆくの——皆さんでぜひよい知恵を出してください。

(毎月の情報紙の編集をいろんな土地で、地域の特徴を入れてやってゆけたらホントにいいのだけれど。)

春だからトレーナー

おかげさまで、好評の、あのファッショナブル黒トレーナー。着こなす次第でいろいろな楽しみ方ができるのがうれしいです。

グループでまとめて買ってくれれば、送料がかなり減ります。(2kgまで四百円位。一枚ずつだと三百五十円かかります。)

このチャンスに、仲よし友達でおそろいのトレーナーをそろえてみませんか。デザイントレーナーなので、グループやお友達で、全くちがう着かたを工夫するのもオシャレ! 真夏以外はこれ一枚あれば、いろんな着こなしが楽しめるし、お友達さんにも妊婦さんにもうれしいフリーサイズ! だから、おとなりさんあんふあんで予備軍の知りあいに、三千円でおしゃれなトレーナーをすすめてくださいませんか。そこからまた、いろんな、あんふあんで、がうまれるかもしれません。なんと! 大人用も小人用もまだ少しのこっています。お早めにどうぞ。



情報コーナー

★親子で楽しめる講演会

一、3月22日(火) 2時から4時

講師・松本キミ子さん

(花を描けと言われたら花びらから描く人が圧倒的。でも、実際の花は土から芽を出し葉が出て茎が延びて、花は最後。不思議だと思いませんか。そんなことから独自の絵の描き方「キミ子方式」を生み出した方です。)

二、3月26日(土) 2時から4時

講師・中川李枝子さん

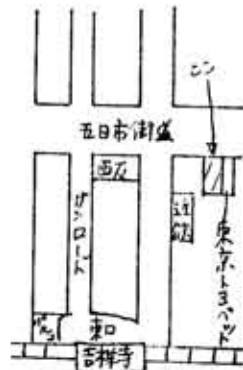
(みんなに親しまれる絵本「ぐりとぐら」の作者です。)

●子ども連れ可(粘土遊びなどをするスペースがあります)

参加費無料(要予約)定員50名(先着順)会場・子連れで井戸端会議できる絵本・おもちゃの店「おばあちゃんの手箱」

武蔵野市吉祥寺本町1の33の10 丸二ビル

0422(21)0921 月曜定休 営業時間・10時から19時



★イキイキ子育てセミナー(第7回)

女にとつて男にとつて家族にとつて

子育てとは何かを考えてみませんか

日時・4月24日(日) 12時から4時半

(受付11時半)

場所・東京都婦人情報センター

(飯田橋駅隣接セントラルプラザ15階)

参加費・千円 主催・幼稚園110番

保育室あり(有料)・申し込み制

一部 基調報告

●父親役は面白い

伊藤雅浩(TBS総務局審査部長)

●お忙しママの子育てテクニク

石川由紀(生活アドバイザー)「ワキ

結婚のおかげで自由になれた

平井雷太(すべすべ「らくだ」主宰)

●わが子を幼稚園と保育園に入れてみて

土屋和子(育児相談カウンセラー)

二部 ワークショップ

(人数によつては分科会形式)

司会進行 森本邦子(ミネルヴァ心理研究所)

幼稚園110番主宰)

幼稚園のこと、子育てのこと、夫のこと、

何でも世の中のこと全てを話し合いませんか。

子育てを通して世の中を眺めよう、子育てを

大いに語りイキイキしよう。夫とペアでも。

申し込み先

森本

山田

間瀬

岩本

★自分を変えるセミナー

(自己発見の場・自己主張の場・共に生きる場など)

日時・4月2日(出) 12時半から

4月3日(日) 12時まで一泊二日

場所・国立婦人教育会館

参加費・一万六千円(食費は除く)

募集人数・25名 締切・3月18日(金)

(寝まき・洗面具持参、動きやすい服装で)

申込先・フェミニストセラピー「なまき」

新宿区三栄町17 木原ビル302

03(359)0902

(月から金10時から5時)

(テーマの一例)

話合い・「自分らしさ・女らしさ」など

役割劇・「話合いにならない夫」など

即興劇・「家庭内離婚」「老い」など

★原発反対と共に核燃反対も!

青森県六ヶ所村には、核燃料サイクル施設

(ウラン濃縮、低レベル放射性廃棄物貯蔵、

再処理の各施設)が建設されようとしていま

すが、これに反対する人たちが百万人署名運

動をしています。

「国籍、年齢に制限はなく、家族の代筆可、

住所は一行毎に書いて」ということで、四月

上旬が第一集約期です。あんふあんで事務

局にも署名用紙が送られてきましたので、趣

旨に賛同する方、私も署名を集めようという

方、連絡ください。

署名送り先

「ストップ・ザ・核燃署名実行委事務局」

★デンマークの風を聞く会

昨年、国外へ飛び立つて行った永田さんは、デンマークにある「ナショナルビルブルカレッジ」という、大人の学校(といったらよいのか)へ行っています。そこで、「平和」を担当している方のワイフが日本人だったので、あんふあんでの話などしたら、六月に日本へ行くので、交流しようかという話を持ち上がったのです。永田さんの「どう?」という話に、「いいじゃない!」と乗ってしまっただけです。

同一民族の中で生活している私達は、どうしても、一つの価値観にしばられているような気がします。日本以外で生活している人と話しをすることで、こうしなければならぬと思っていたことが、実はくだらないことだったと気がつくかも知れません。

ということ、平和問題に関心のある人、デンマークってどんなところ、デンマークの教育について知りたい、永田さんの行っている学校でどんなことをやっているの、などなど、この企画に興味のある人、一度集まりたいなと思います。いきなり外国の人を前にして、圧倒されて終わってしまうのでは、こちらからあちらさんともたまらないと思うので、下準備をしようという事なのです。日時は未定ですが、とりあえず、興味のある方は、事務局までご連絡下さい。待っています。(後藤)

★原発をともに考えよう

今が原発を考えるラストチャンス、数年後には日々チェルノブイリの恐怖の中に暮らさなければならぬとしたら...一人ではとても難しい問題を皆で考えていきまし

よう。連絡をお待ちしています。春山

(夜のふ)

★三月の平日あんふあんで、小学生も一緒に

科学技術館と北の丸公園へ行きますよう!

日時・3月31日(木) 11時から2時

場所・科学技術館入口前集合(11時)

(地下鉄東西線竹橋下車徒歩6分)

北の丸公園でお弁当を食べてから館内

を見学します。

弁当・水筒・数物・着替え持参

参加希望者は28日(月)までに事務局まで連絡し

てください。

★家具を処分します

●すきま家具 上半分はガラス戸の棚、下

半分は引き出し。白色。高さ180cm、幅32cm、

奥行42cm。

●大型げた箱 高さ150cm、幅62cm、奥行35cm、

普通の戸棚としても使える両開きで、棚板と

りはずし可能。こい茶色。

●洋服ダンス 前面グリーン。上下両サイド

白。高さ150cm、横75cm、奥行62cm。

●カラーボックス 高さ60cm、幅47cm、奥行

29cm、2段になっている。白地に茶系の女の

子の模様。3個。

●引き出し 白、高さ60cm、幅32cm、奥行29

cm、上下にわかれます。

●カラーボックス うす茶。高さ60cm、幅43

cm、奥行29cmが1個。高さ59cm、幅31・5cm、

奥行30cmが1個。

その他、赤のワゴン、小さな本棚、レコー

ドボックス等あります。値段は相談して決め

たいと思います。ただし取りにこられる方の

み。 秋元

図書コーナー

23区別情報・東京ママおたすけ本

「お母さんが元気に働く本」

バンドラカンパニー 定価・九百八十円

ベビー雑誌、家庭情報誌の特集などに、い

ろんな施設や情報などは載っていますが、い

ざ、というとき、どういうわけか、探しきれない

間にあわない、というくやしい経験をしたこ

とありますよね。そういうイライラは、この

一冊ではとんとOK。23区別に子育てにかか

わる人用リストアップ3000!いまや、必

需品です。それと、子育て体験者からのウン

チク集。すれちがう子連れママが本音でしゃ

べつてくれる実感。これがまた、おもしろい。

(木村)



事務局から

●あんふあんでの情報誌、毎回その号の担当メンバーが四苦八苦して原稿をまとめ、印刷屋さんへ持って行き、それで出来上り……ではありません。校正したり、封筒にはんこを押したり、切手を貼ったり、刷り上がったものを折って封筒にいれポストへ……と、かなりの作業があります。

これらの作業には、東京近郊の会員有志が手弁当であたっています。風邪をひいたり幼稚園の用事と重なったりで、いつも手が足りません。予定していた日に発送できないこともあります。

赤ん坊が寝てからなら校正くらいできるワとか、日中の数時間ならおしゃべりしながら発送作業をやってもという人、ぜひ名乗り出て！事務局か。の幾代宅に来やすい人、待っています。情報誌が身近になりますよ。

スケジュールメモ

3月9日(木) スタッフ会議(中野婦人会館)
3月17日(木) 切手貼り (事務局)
3月26日(土) 土曜あんふあんで (神楽坂)
3月31日(木) 平日あんふあんで (神楽坂)
4月11日(月) 4月号発送 (神楽坂)
4月14日(木) スタッフ会議(中野婦人会館)

編集メンバーから

●スタッフとして関わった一年が過ぎようとして、たいしたことは出来なかったというか、やらなかったけど、不思議だね、一年前より自分が大きくなったと感じる。新スタッフ募集中です。絶対いいことあるよ。(後藤)

●あれもこれもと、手かせ足かせの状態で希望の方が膨らみすぎたけど、現実をもっと深く見るこの大切さを知りました。何もできずに、社会から抹殺されたような四・五年間、この時期のエネルギーはこれからどう動くか。自身に期待してしまう。(木村)

●専業主婦生活もまる八年。いよいよ働くことを考えています。四月からの私のあんふあんでには働くための準備になりそう。(三谷)

●ただ今妊娠八ヶ月。二人目だと胎教の一つも怠りがち。つわりの後遺症で参加もままならず何もできずで、欲求不満の上に消化不良に陥っています。(島本)

●この暖冬に、毎日の公園通いもとっても楽しいのだけれど、何かどっかおかしい。ちょっと不安な気がします。(辻)

●いつも楽しいあんふあんで。必ず、集まってくれた、と充実感です。(松島)

●突然市民グループの人が家宅捜索を受けた……というイヤな世の中。春の嵐で吹き飛ばせ！(川崎)

●一月の土曜あんふあんで新年会、人ももちそうもいっぱいで盛り上がり、とっても楽しかった。三月もたくさん来てね。(加藤)

☆当会について詳細を知りたい場合、封書にて、郵便番号・住所・氏名・電話番号を明記し切手四百円分(なるべく少額切手で)を送って下さい。宛先は表紙上段に記載。
☆入会希望の場合は、なるべく六ヶ月(二千四百円)以上まとめて郵便局の振替口座で払い込みを。口座番号は表紙上段に記載。なおTELもお忘れなく。

☆事務局の電話受付は原則として月・金曜の1時から3時半です。御協力をお願いします。
☆会費の振り込みを忘れている方は至急振り込みを、休会、退会も必ず連絡をください。